

みんなを支える みんなの路線バス



路線バス維持のために私たちができることは

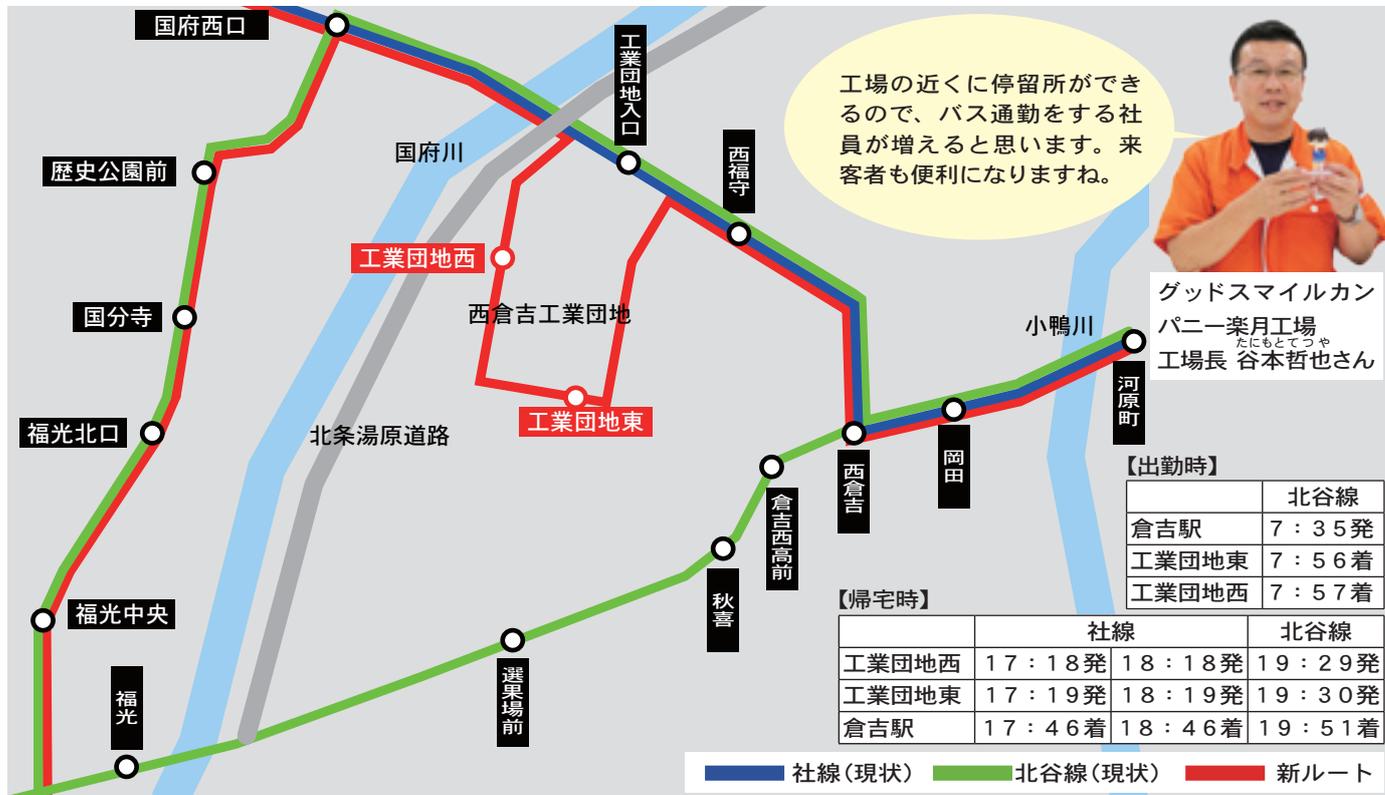
10月1日から路線バスのルートが見直されることになり、バス利用がより便利になります。住民のニーズに合わせて変化していく路線バスですが、バス利用者の減少や運転手不足などにより将来、路線バスの維持ができなくなる恐れもあります。高齢者や通勤・通学者、観光客など移動手段としてバスが必要な人がこれからも安心して暮らしていくために私たちは、このような課題に対してどう向き合えばいいのでしょうか。

問 企画課 (TEL 22-8161 / FAX 22-8144)

10月1日から通勤・通学者がより利用しやすい路線運行へ

倉吉総合産業高校や西倉吉工業団地内の企業からのニーズに応えるため、10月1日(火)から次のような路線が運行されます。通勤・通学者のニーズにマッチした運行により利用者の増加が期待されます。

西倉吉工業団地内経由で運行



倉吉駅～倉吉総合産業高校の直通便が運行





バスを取り巻く状況

バス利用者数の減少

県中部圏域を走る路線バスの利用者数は、減少傾向にあり、今後も減少していくと考えられます。主な原因としては、人口減少、少子化による高校生の減少、高校生保護者による送迎の日常化、自動車免許保有率の増加などが考えられます。

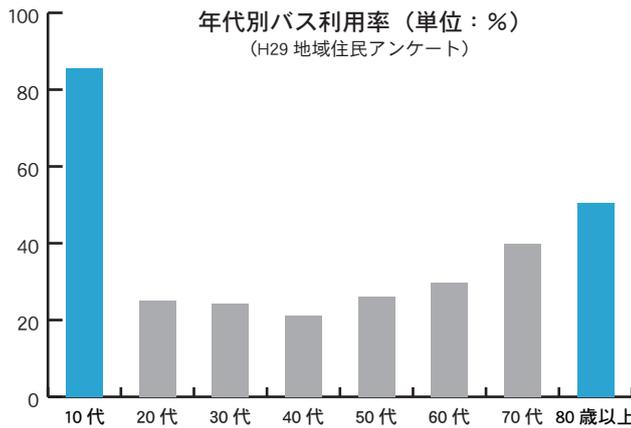
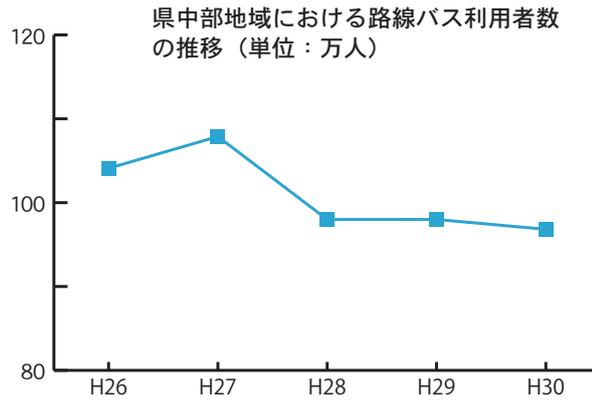
学生や高齢者の移動手段

業が進まず運転手の不足や高齢化が深刻化しており、将来、バス運行が継続できなくなる恐れもあります。

一方で平成29年に行った地域住民アンケートによると、路線バスをよく利用している年代としては、10代で85・7%、次いで80歳以上で50・5%という結果になっており、自動車での移動手段を持たない学生や高齢者にとっては欠かせない移動手段であることがうかがえます。

運転手不足と高齢化

また、人口減少に伴う労働人口の減少に加え、職業の多様性、雇用の売り手市場により運転手への新規就



利用者の声

Voice

買物・通院で利用

買物で利用しているほか、通院でも利用しています。特に雨や雪の日は唯一の移動手段なので、とても助かっています。最近では運転手さんとも顔見知りになりました。バスは生活の一部と言っていいくらい大事なものです。

通学や部活でほぼ毎日利用

中学生のときからバスを利用しています。今は通学や部活で明高入口から総合事務所前まで、ほぼ毎日、利用しています。バスがないと両親に負担をかけてしまうため、通学には欠かせません。

バスのこれから

路線バスを取り巻く環境は厳しい状況にあります。今後に向けて1市4町の取り組み、路線バス運行における課題、住民・バス事業者の役割などについて、鳥取県中部地域公共交通協議会副会長の加藤博和さんに聞きました。

1市4町での取り組み

県中部の1市4町の関係団体などでは、圏域において誰もが使いやすい公共交通体系の構築を目指して、鳥取県中部地域公共交通協議会を設置しています。協議会では、地域公共交通再編実施計画の策定や地域公共交通再編実施計画の策定に必要な協議や計画実施に必要な連絡調整などを行っています。平成30年3月には、利便性が高く持続可能な公共交通ネットワークのあり方を示すマスタープランとして「鳥取県中部地域公共交通再編実施計画」を県と1市4町が主体となり策定しました。



鳥取県中部地域公共交通協議会副会長 加藤博和さん(米子工業高等専門学校教授)

この計画は、令和6年度までを計画期間として圏域の公共交通における現状と課題、基本方針と目標、目標達成に必要な事業などが定められており、この計画に基づいて、路線再編など必要な取り組みが県中部の1市4町において行われています。10月1日から実施される新路線の運行も、この計画を基に行われるものの一つで、今後も路線再編などの事業が年次的に実施されます。

鳥取県中部地域公共交通再編実施計画ホームページ



今後のバス運行における課題

課題の一つ目としては、10月の新路線の運行のように利用者ニーズに対応した運行を行うことです。利用者ニーズは変化しており、通勤・通学・通院・観光など、それぞれの利用者にとって利用しやすい時間帯での運行や経路の見直しなどを行う必要があると思います。

二つ目は、効率的な運行体制の確立です。このことは、運転手不足の問題とも関連しますが、運行本数の見直しをした上で雇用条件の見直しを行うなど運行体制の見直しと運転手の確保対策という両方の観点からの対応が必要だと思います。

三つ目は新たな利用者の確保だと思えます。既存の路線運行も、も

ちろん必要ですが、観光施設やイベントとのタイアップにより、利用者の裾野を広げる取り組みも必要ではないかと思えます。

これから私たちにできること

路線バスは一度なくなってしまうと復活させることは困難です。今は必要なくても何年後には中年層は高齢者になり、若年層は親になり子どもが通学で必要になる日がくるかもしれません。将来も路線バスを維持するために、住民にはもっと関心を持って利用してほしいと思います。中には運行に補助金が使われていることを知らない人もあるようです。また、バス利用が難しい人でも協議会に意見を寄せてほしいと思います。一方でバス事業者は利用者の増加に向けた取り組みなどを積極的に提案してほしいと思います。住民もバス事業者も単独での取り組みは難しいと思います。協議会という場をもっと活用して行政や関係団体を含めて、みんなで支えるみんなの路線バスとなることが重要ではないでしょうか。

明治36年(1903年)9月20日に日本で初めてバスが運行したのを記念して9月20日は「バスの日」となります。この日を機に通勤や買物などでバスを利用してみませんか。

県内路線バス耳より情報

観光客向け ~日ノ丸自動車・日本交通共通~

【商品名】鳥取藩のりあいばす「乗放題手形」

【有効期間・価格】3日間・1,800円

【特典】県内協賛の観光施設の入場料割引など

問 日ノ丸自動車(株)倉吉営業所(☎26-4111)または、日本交通(株)倉吉営業所(☎26-1115)

買物客向け ~日ノ丸自動車・日本交通共通~

【内容】各種バス定期券(有効期限内のものに限る)を協賛店に提示すると割引やサービスを受けることができます。

※令和元年度中に実施予定

問 企画課(☎22-8161/☎22-8144)

高齢者向け ~日ノ丸自動車・日本交通共通~

【商品名】グランド70/【対象】70歳以上

【有効期間・価格】6か月・25,700円

問 日ノ丸自動車(株)倉吉営業所(☎26-4111)または、日本交通(株)倉吉営業所(☎26-1115)

学生向け ~日ノ丸自動車のみ~

【商品名】ステップ/【対象】高等学校、専門学校、専修学校に在学中の人

【有効期間・価格】1か月、3か月、6か月・通常定期券額の44.4%を割引

問 日ノ丸自動車(株)倉吉営業所(☎26-4111)

